川西町役場跡地利活用計画策定委員会
第６回委員会　議事録

１　日　　時　　令和２年３月６日（金）　午後６時００分～午後７時３０分
２　場　　所　　川西町中央公民館　２０１号室
３　委　　員　　岡田清一委員長　山口徳夫副委員長　關和博委員　　加藤健吉委員
　　菅井厚委員　　金田忠夫委員　　片倉敬輔委員　濱田修委員
　　江本一男委員　　菅美和子委員　　小林英喜委員　山田文子委員
４　欠席委員　　阪野博之委員
５　町出席者　　原田町長　山口副町長　未来づくり課長　事務局６名
６　傍聴人数　　０名

＜議題・審議内容＞
１　開会
　司会（事務局）による開会。

２　委員長あいさつ
　最終の委員会となる。これまで審議いただいた基本方針案を、最終案として提案できればと考えている。審議に協力願いたい。

３　町長あいさつ
　委員の方々におかれては、第１回委員会が平成３０年１２月の開催であり、足掛け３年にわたり審議に御協力いただいたことに感謝申し上げたい。
　また、これまでの審議で課題を整理いただき、今後の方向性を示す原案を策定いただいたことに、心から感謝申し上げたい。
　令和２年度には、より具体的な内容となる基本計画を策定する予定。町民の皆様に約束した形で、拠点施設整備という方向性で示していきたいと考えている。

４　報告
（１）前回委員会における協議内容について
・資料に基づき、事務局より報告。委員からの質問、意見等はなかった。

（２）前回委員会からの取組

・資料に基づき、事務局より報告。委員からの質問及び意見は以下のとおり。

（委員）
・ワークショップの結果の部分で、基本方針本編に記載されるのであれば小松地区地域振興協議会に係る表現を簡潔にしていただきたい。
（事務局）
・委員会資料にのみ記載される部分であり、本編内には記載されない部分。

（委員）
・まちづくり委員会へのアンケートに係る部分について、「過重な財政負担とならないように」という文言を加えてほしい。また、一旦町の機能が分散されたものを再び集約することは困難であるため、経費はあまりかけない、という旨を説明にあたり付していった方が良い。
（事務局）
・方針に係る協議の際に改めて協議したい。

５　協議

（１）川西町役場跡地利活用基本方針（案）についての最終検討

・資料に基づき、事務局より説明。委員からの質問及び意見は以下のとおり。

（委員）
・２ページの「（４）これまでの検討状況」において、中央公民館使用団体への意向調査の箇所があるが、調査の中で、現在の場所に活動場所が整備されるのであれば、この地での活動を継続したいという意見も多くあった。そのような団体の希望が記載されていないと、将来的な議論に結び付いていかないと考える。本文中にその部分を記載することを希望するがいかがか。
（委員長）
・利用状況から移行が可能である、という調査結果自体が、単純な計算によるもの。そこに、各団体からの要望等をどこでどのように反映させるのか、ということは事務局に常に考えていただきたいところ。また、委員の発言については、但し書き以降の部分になるのではないか、と考える。
（委員）
・但し書き以降の部分のみでは、各団体の希望が伝わらないと考える。
（事務局）
・資料編の中に、各団体への意向調査に係るまとめを記載している。そちらを確認してもらうことではいかがか。
（委員長）
・利用調整等が必要となる前提として、各団体から意向調査を実施していることを念頭に置いたうえで、事務局は今後臨んでいただきたい。
（委員）
・具体的な検討の段階で議論にならないということは避けてほしい。
（事務局）
・具体的な検討にあたり、留意していきたい。

（町長）
・６ページの「（２）利活用の視点」において、これまでの項目を、川西町に住んでいなくても川西町を応援したいという、言わば絆のようなものを深めていく、という思いを含め「関係人口」という文言で整理した。

（委員）
・今回の基本方針と、置賜定住自立圏構想とは、どのような関わりになっているのか。
（未来づくり課長）
・置賜定住自立圏構想とは、米沢市を中心とした置賜３市５町で広域的な課題の解決を目指していくもの。役場庁舎跡地利活用については川西町個別の課題であり、今後の展開として広域的な課題となることも考えられるが、現時点では広域的な課題ではないと考えられる。

（委員）
・前回委員会と比較し、基本方針の防災に係る部分が、「交流・憩いの空間づくり」から「活力ある地域づくり」に移動している。防災分野は「活力ある地域づくり」にあるべきと考えていたため、事務局の考えに賛成。

（副委員長）
・前回委員会において「共生社会」は住民に分かりやすい表現に代えてはどうか、という意見があったが、それはどうなったのか。
（事務局）
・代わる良い表現が見つからなかったため、そのままとした。
（委員長）
・「共生社会」を説明しようとすると、様々な要素が含まれる。それらを羅列して説明しようとするのは難しい。
（副委員長）
・馴染みの薄い言葉であるため、「共生社会」と言われても住民は分かりにくい。
（未来づくり課長）
・「共生社会」に係る注釈をつけることはいかがか。
（委員長）
・使われだしている言葉であるため、より正しく理解いただくためにも、注釈をつけることが良いと考える。同様に「関係人口」についても注釈をつけた方が良い。
（事務局）
・それぞれ注釈をつけることとしたい。

（委員長）
・基本理念前文において、「役場庁舎跡地の利活用にあたっては」と始まり「拠点を整備します。」で終わる文があるが、主語と述語のつながりがおかしい。「役場庁舎跡地は」「拠点として整備します。」と修正し、町としての主張を明確にした方が良い。
（事務局）
・そのように修正したい。

（委員）
・基本理念の「集い」の部分を、基本方針の「活力」と一致させた方が、より基本理念前文で主張している内容を強めることとなると考える。基本理念を「活力、交流、にぎわいの場の創出」のようにしてはいかがか。
（委員長）
・集うことで活力へとつながるため、基本理念はこれまで協議してきたとおり、現在の内容で良いと考える。

（委員長）
・９ページの「事業スケジュール」において、令和４年度より整備工事とあるが、令和２～３年度については、現役場庁舎及び中央公民館は残存しているということで良いか。
（未来づくり課長）
・新庁舎整備事業は令和２年度末で完了予定であり、その後、新庁舎への引越し作業が令和３年度に行われる予定。令和３年度は、現庁舎及び中央公民館は残存され、小松地区交流センターの活動についても現状のとおり中央公民館で行う、という考えもある。
（委員）
・令和３年度は、中央公民館機能がそのまま維持されるということか。
（未来づくり課長）
・機能の維持については、現在検討中の事項。中央公民館機能を継続させるとなると、人員の配置等の検討事項がある。それらを具体的に検討している段階。小松地区交流センターの機能は維持できるように進めなければならない、という認識ではある。
（委員長）
・整備工事の間の小松地区交流センターの機能はどのように考えているか。
（未来づくり課長）
・次年度の基本計画の策定において、そのような具体的な部分について検討を進める必要があると考えている。
（副委員長）
・３年度における中央公民館のあり方について、なるべく早期に町民に示していただきたい。

（２）その他

（事務局）
・これまで調査してきた内容を資料編としてまとめ、基本方針と併せて公表する。委員会の名簿についても公表させていただくことに了承いただきたい。

（委員）
・５ページの「立地特性」における地図の修正箇所や出典元等はどこか。
（事務局）
・廃業した商店の削除等による修正であり、出典はグーグルマップ。
（委員長）
・出典元を明らかにしたうえで、一部改編していることを追記すること。

６　その他

（委員）
・令和２年度に基本計画を策定する予定だが、策定に向け様々な課題を整理していただきたい。

（委員長）
・６回にわたり委員会を開催してきたが、委員の皆様に御協力いただいたこと、心より感謝申し上げる。施設は、どのように維持していくかということが重要であり、地域の方々が積極的に関わることが必要となってくる。どのように維持していくのかということを、今後より活発に議論していだたきたい。

７　閉会

・山口副町長より閉会の挨拶。

平成３０年から長きにわたり基本方針策定のため御尽力いただき、心より感謝申し上げる。基本方針は、どなたに見ていただいても、基本理念に至る流れや考えが分かるようなものを目指した。また、資料編についても、基本方針策定に至るまでの考えが詰まっているものであり、そちらについても大切にしていきたい。

整備工事が完了した際に、委員の皆さんにキチンと示していけるよう今後の事業も進めていきたい。